

科学研究費助成事業（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	21677001	研究期間	平成21年度～平成25年度
研究課題名	シロアリの社会組織化に関わるシグナル分子伝達機構の解明	研究代表者 (所属・職) (平成26年3月現在)	三浦 徹（北海道大学・大学院地球環境科学研究所・准教授）

【平成24年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A- 当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)	
<p>シロアリの社会組織化に関わるシグナル分子伝達機構の解明に向けて、フェロモン分子の同定など一部が計画どおり進んでいないが、カースト分化に関わる発生プロセス及びカースト特異的外分泌因子の解析に関して着実に研究が進展し、ソルジャーの在／不在によるワーカーの可塑的行動の発見など期待以上に進んでいる部分も見受けられる。また、当初の研究目的に加えて、次世代シーケンサーを用いたEST解析及びRNA-seq解析も成果を挙げつつある。2011年にこのテーマで受賞していることから研究成果が高く評価されていることがわかる。今後、トランスクリプトーム解析で遺伝子の特定に至る可能性もあり、時間と資金の配分に留意して、当初の目的にかなう大きな成果を挙げることを期待する。</p>	

【平成26年度 検証結果】

検証結果	<p>本研究は、シグナル分子（ホルモン、フェロモン）による個体調節からシロアリの社会の組織化を解明しようとする意欲的な研究である。カースト分化に伴う発生プロセスの改変、カースト特異的外分泌因子の網羅的解析、フェロモン分子の機能解析、カースト分化・社会進化のモデル構築の各研究項目は一定の成果を上げているが、フェロモンの同定と機能解析等、いくつかの研究で重要な知見がまだ示唆の段階となっている。今後の論文発表によって研究成果をより社会的に周知させることを期待する。</p>
A	